



理工学専攻機能材料化学コースの大学院生が  
化学工学会第51回秋季大会において優秀ポスター賞を受賞

**【概要】**

令和2年9月24～26日に開催された化学工学会第51回秋季大会において、理工学専攻機能材料化学コース修士課程2年の小川 真矢 君が優秀ポスター賞を受賞しました。

**【本文】**

令和2年9月24～26日に、化学工学会第51回秋季大会が開催されました。今回は岩手大学で開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染防止のためオンライン形式での開催となりました。本会は、年二回開催される化学工学会の研究講演発表会の一つであり、化学工学に携わる全国の研究者が参加する大規模な学会です。今大会の材料・界面部会シンポジウムでは72件のポスター発表が行われました。厳格な審査の結果、10件の優秀ポスター賞が授与され、理工学専攻機能材料化学コースから下記の学生が受賞しました。おめでとうございます。

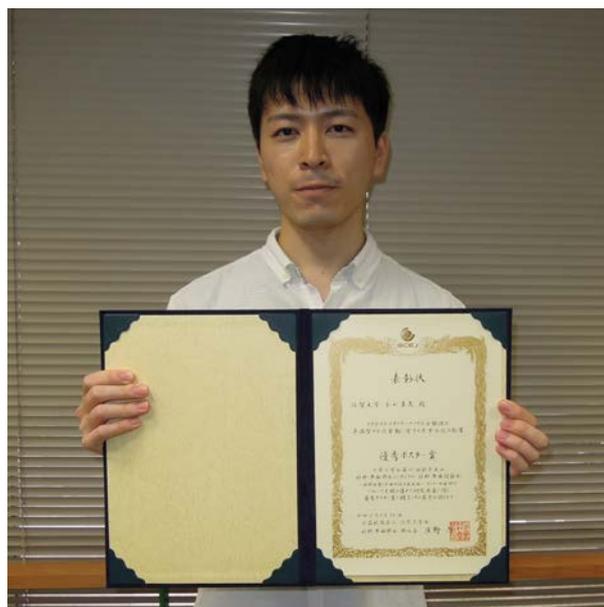
○優秀ポスター賞

理工学専攻機能材料化学コース 修士課程2年 小川 真矢

(指導教員：森貞 真太郎 准教授)

題 目：PNIPAMコポリマーナノゲル分散液の昇温型ゲル化挙動に対する共重合比の影響

受賞者一覧: [http://www3.scej.org/meeting/51f/pages/jp\\_winnerlist.html?sess=SY-79](http://www3.scej.org/meeting/51f/pages/jp_winnerlist.html?sess=SY-79)



受賞した小川真矢君